

令和4年12月14日

次期「徳島教育大綱」及び次期「徳島県教育振興計画」の策定について

徳島県 徳島県教育委員会

項目

1 次期「徳島教育大綱」の策定について

- ▶ 法律上の位置づけ
- ▶ 大綱と振興計画の策定状況
- ▶ 次期「徳島教育大綱」の策定について

2 国の次期教育振興基本計画について

- ▶ 次期教育振興計画のコンセプト、教育をめぐる現状と課題
- ▶ 5つの基本的な方針（案）、本県での主な取組

3 新たな総合計画の動きについて

- ▶ 新たな総合計画の策定について
- ▶ 長期ビジョン・中期プランの素案（大要）【教育関係】

4 今後のスケジュールについて

1 次期「徳島教育大綱」の策定について

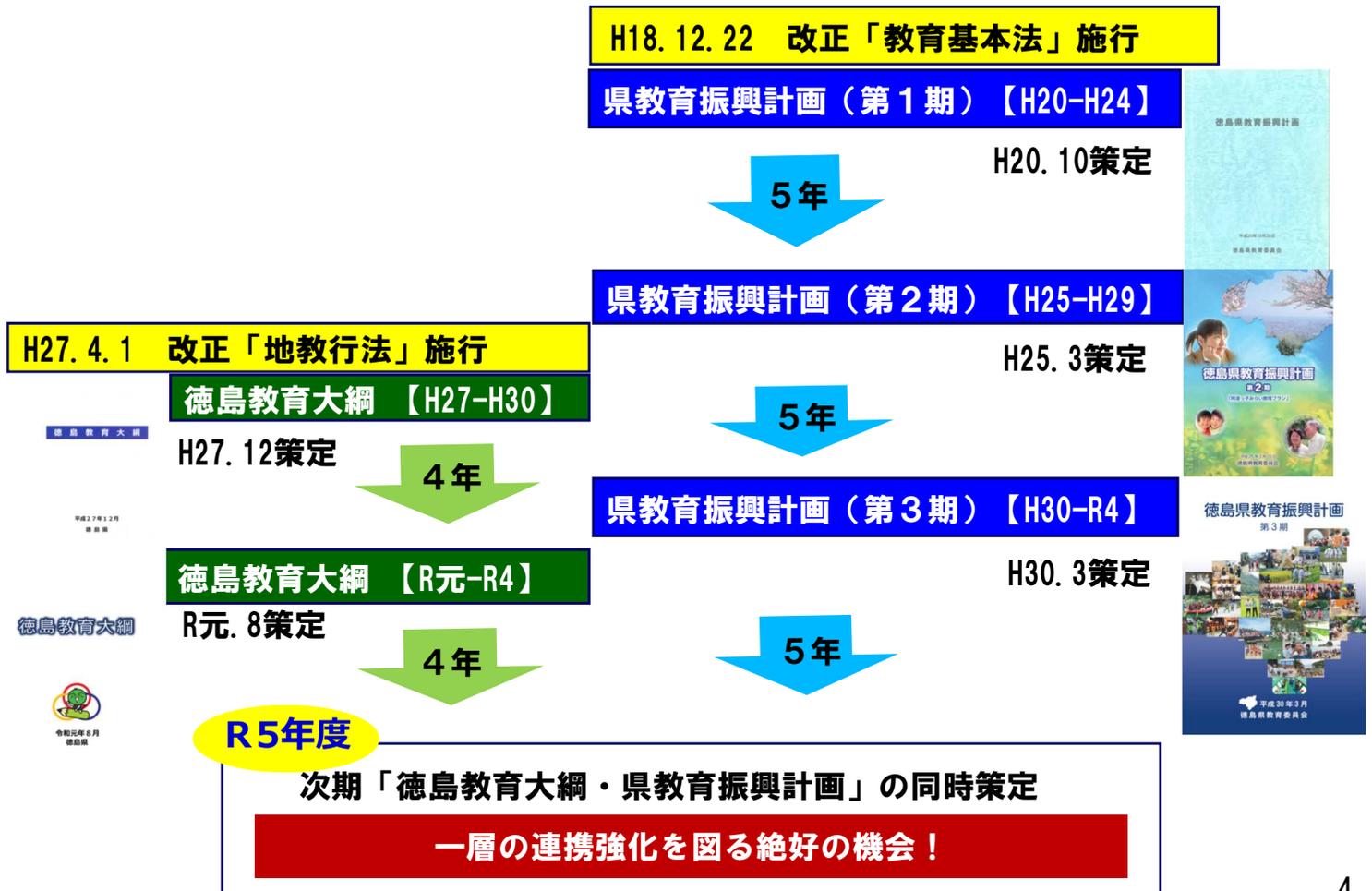
法律上の位置づけ

	大綱	振興計画
根拠法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第一条の3第一項）	教育基本法（第十七条第二項）
策定主体	地方公共団体の長 ※総合教育会議において協議	地方公共団体
策定方法	国の「教育振興基本計画」を参酌し、その地域の実情に応じ策定	
範囲等	地方公共団体の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱 ※必須	地方公共団体における教育の振興のための施策に関する基本的な計画 ※努力義務

- 本県では、知事と教育委員会が緊密に連携し、徳島の教育力を結集させ、創意工夫をこらした教育を実践するため、「徳島教育大綱」を策定。
- 大綱の行動計画として、「徳島県教育振興計画」により、本県教育の振興のための具体的な施策や成果目標を示している。

3

大綱と振興計画の策定状況



4

次期「大綱・振興計画」

「大綱と振興計画」を一つに「パッケージ化」した
「未来志向型の教育大綱」として策定

- ・大綱に、10年程度先の「教育の目指すべき姿」を展望した「**将来ビジョン編**」を**新設**
- ・**振興計画の計画期間**は、大綱と同様の「**4年間**」に設定
- ・大綱と振興計画を「パッケージ化」し、名称を「**徳島教育大綱**」として策定



一体的な施策体系を構築

徳島ならではの「未来教育」を創造！

2 国の次期教育振興基本計画について

教育をめぐる現状と課題(社会の現状や変化への対応)

- ・新型コロナウイルス感染症
 - ・グローバル化・地球規模課題
 - ・DXの進展、AI・ロボット・グリーン(脱炭素)
 - ・少子化・人口減少や高齢化
 - ・精神的豊かさの重視(ウェルビーイング)
 - ・共生社会・社会的包摂
- など

次期教育振興基本計画のコンセプト

2040年以降の社会を見据えた持続可能な社会の創り手の育成

- ・将来の予測が困難な時代において、未来に向けて自らが**社会の創り手**となり、課題解決などを通じて、**持続可能な社会**を維持・発展させていく
- ・社会課題の解決を、経済成長と結び付けて**イノベーション**につなげる取組や、一人一人の**生産性向上**に向けて、「**人への投資**」が必要
- ・Society5.0で活躍する、主体性、リーダーシップ、創造力、課題発見・解決力、論理的思考力、表現力、チームワークなどを備えた人材の育成



日本社会に根差したウェルビーイングの向上

- ・多様な個人それぞれの**幸せや生きがい**の実現に向けた教育
- ・幸福感、**学校や地域でのつながり**、**利他性**、**協調性**、**自己肯定感**、**自己実現**等の要素が含まれ、**協調的幸福**と**獲得的幸福**のバランスを重視
- ・**日本発の調和と協調あるウェルビーイング**を発信

2 国の次期教育振興基本計画について

5つの基本的な方針（案）

- ① **グローバル化する社会の持続的な発展**
に向けて学び続ける人材の育成
- ② 誰一人取り残さず、全ての人の可能性を
引き出す **共生社会の実現**に向けた教育の推進
- ③ **地域や家庭で共に学び支えあう社会の実現**
に向けた教育の推進
- ④ **教育デジタルトランスフォーメーション**
(DX)の推進
- ⑤ 計画の実効性確保のための基盤整備・対話

本県での主な取組

- ・ダイバーシティの全国モデルとなる
「**国府支援学校の整備促進**」
- ・徳島ならではの、学び直しの拠点
「**県立しらさぎ中学校**」
- ・2025大阪・関西万博を見据えた
「**グローバル人財**」を育成する取組
- ・SDGsの機運醸成に向けた
「**教育GX**」のさらなる深化
- ・教育データの活用等による学びの
充実強化をはじめとした
「**GIGAスクール構想**」の展開
- ・外部人材の活用等による
「**教員の働き方改革**」の推進

7

3 新たな総合計画の動きについて

◆新たな総合計画の策定について

現行の「『未知への挑戦』とくしま行動計画」が令和4年度で終了

本県の目指すべき将来像やその実現に向けた今後4年間の施策を示す
新たな総合計画を令和5年度に策定予定

【新たな総合計画の構成（三層構造）】

長期ビジョン 「**2060年頃**」を展望した本県が目指すべき将来像
中期プラン 「**10年程度先**」となる2030年頃の実現を目指す戦略
行動計画 **4年間**に取り組む重点施策

◆新たな総合計画の策定スケジュール

令和4年12月 長期ビジョン・中期プランの素案（大要）とりまとめ
（12/2総合計画審議会・「未知への挑戦」推進部会で提示）

令和5年4月以降 新たな総合計画（全体版）素案とりまとめ

長期ビジョン(2060年頃の姿)

3つの将来像

- ◎ 未来が輝く「躍動とくしま」
- ◎ 未来へ紡ぐ「強靱とくしま」
- ◎ 未来を拓く「創造とくしま」



一人ひとりの個性や可能性が広がり、未来を拓く若者が育まれている

参考資料4 P1

- ◎未来を切り拓く人財を育む学び
- ◎地域で育まれる次世代人財
- ◎デジタルによる学びの変革
- ◎グローバル教育・キャリア教育

中期プラン(2030年頃の実現を目指す戦略)

参考資料7 P1

基本戦略 未来・笑顔とくしま戦略

重点方針

未来を拓く学び・
とくしまづくり

主な施策の方向性（大要）

- デジタル社会形成に向けた教育DXの推進
- 多様なニーズに応える「徳島ならではの」教育の充実
- 学校・家庭・地域の連携による心豊かに生きる力を育む教育の推進
- 徳島と世界をつなぐ「グローバル人財」の育成
- 特別支援学校における地域と一体化したキャリア教育の推進

9

4 今後のスケジュールについて

次期大綱

次期振興計画

R5.
1月頃

県民意識調査実施（eモニター）

R5.
3月頃

次期大綱
「骨子案」とりまとめ
（R4第3回総合教育会議）

次期振興計画
「骨子案」とりまとめ
（第2回教育振興審議会）

R5.
4月以降

次期大綱
「素案」とりまとめ

次期振興計画
「素案」とりまとめ

合同開催 R5第1回総合教育会議・第3回教育振興審議会